



「森と海 of 自然科・第23回山歩きを楽しむ会案内」

音羽山から高塚山を越えて醍醐寺までを歩く

2022年1月に山歩きを楽しむ会の候補地の下見として音羽山登ったことがあります。その時山頂近くは積雪で登るのに苦労しました。今回の「森海・山登りを楽しむ会例会」は2月のことですので、更に積雪の心配です。そこでリュックが重くなりますが、各自軽アイゼンのご持参をお願いします。

逢坂峠から国道を渡る歩道橋への階段には相変わらず鎖で通行止めになっていますが、無視して進みます。もう少し早い時期だと歩道橋から見られるタマミズキの赤い実は残念ながら見る事ができないでしょう。

以前に森海例会で音羽山から牛尾観音を経て追分駅へのコースを歩いています。今回は牛尾観音から高塚山を登り返して醍醐寺に降りるコースです。距離距離が結構ありますので、休憩を多くとりゆっくりと歩いていきたいと思っています。

担当 大石・李三

- 1：日時 2025年2月18日（火） 京阪大谷駅 10時20分集合
- 2：持ち物 弁当、水筒、雨具、防寒具、軽アイゼン等々 **なお、経路地図は当日お渡しいたします。**
- 3：行程 大谷駅・・・逢坂の関登山口・・・NTT音羽無線中継所・・・534mピーク分岐・・・534m展望地・・・534mピーク分岐・・・音羽山山頂（昼食）・・・牛尾漢音分岐・・・牛尾観音・・・高塚山分岐・・・尾根道・・・高塚山山頂・・・長尾神社・・・醍醐寺・・・醍醐寺前BS（解散）→JR六地藏駅→京阪六地藏駅 醍醐寺前BS →地下鉄東西線醍醐寺駅
- 4：歩行距離 8.84km 歩行時間（昼食・休憩を含む）5時間



京阪大谷駅改札口



逢坂峠を越えて京へ荷物を持つ運ぶ車の轍

大津宿から逢坂峠を越えて下がった所に走井茶店がありました。そこには走井があり水が湧いています。

東海道53次内に大津走井茶屋が描かれています。この井戸は現在もあり滾々と水が湧いて出ています。

京阪八幡市駅近くに走井餅を打っているところがありますが、もともとはこちらの逢坂峠で売られていたそうです。



東海道53次内大津走井茶店

音羽山山頂よりの展望



なお、前日17時ごろの滋賀県南部の降水確率40%以上の場合は中止いたします。参加者の方にはメールでお知らせ致します